

令和2年度岩手県立岩谷堂高等学校第1回学校評議員会

1 日 時 令和2年7月7日(火) 16:00~17:00

2 場 所 本校会議室

3 出席者

(1) 評議員

村 上 俊 明 奥州市立江刺第一中学校長

菊 池 司 奥州江刺鹿踊保存会会長

阿 部 潔 奥州商工会議所江刺支所長

菊 地 静 枝 元本校PTA役員

小 澤 信 男 川原崎自治会長

(2) 本校職員

鈴 木 智 香 校長

大 内 圭 一 副校長

佐 藤 則 子 主幹兼事務長

箱 石 健 教諭・総務課長

花 山 俊 行 教諭・教務課長

田 村 宏 光 教諭・生徒指導課長

千 葉 武 徳 教諭・2年次長

小 原 桂 教諭・1年次長

木 田 裕 子 教諭・総務課(学校評議員会担当)

中 村 千 咲 講師・総務課(学校評議員会担当)

4 概 要

学校経営計画と学校概要説明の後、各評議員からの質疑・意見交換・提言。

5 質疑・意見交換・提言

評議員： 模擬株式会社の社長は毎年変わるのか。また、模擬とはどういうことなのか。

学校側： 社長は生徒の中から選ぶので、毎年変わる。模擬株式会社としているのは株式市場に出しているわけではなく、学習活動の一環なので模擬として運営している。同窓生にも協力していただき、若い世代を巻き込んで地域を盛り上げていきたいと考えている。

評議員： 水曜市への出店や鹿踊の演舞など商工会議所としては、岩谷堂高校からの要望は全て受け入れるつもりで全面協力したいと考えている。新型コロナウイルス感染症が生徒達に与えた影響はどうか年度末に調査する予定はあるのか。様々な活動が自粛になり、落ち込んでいるのではないかと心配している。

評議員： 中学校でも多様な生徒が増えている。毎年多くの生徒を受け入れていただいていることに感謝している。岩谷堂高校は進学・就職どちらにも対応できるので生徒・保護者にそれをアピールしている。

学校側： 定員は減少しているが、地域からの入学者は増加している。PR活動はしているが、まだまだ不足しているのではないかと考えている。

評議員： 平成9年に鹿踊部を創部して以来活動にかかわってきた。学校として地域との繋がりを大切にしていることはすばらしいと思う。鹿踊部も地域からの期待が年々高まっており、なくてはならないものとなっている。今後とも継続して地域との繋がりを大事にして欲しい。

評議員： 今年度は求人数が少ないため、就職希望の生徒が苦勞するのではないかと心配している。

評議員： 地域で交通安全指導をしている。新型コロナウイルス感染症の影響なのか小学生はあいさつをしなくなってしまったが、中学生・高校生は元気にあいさつをしてくれている。中学校の応援団の生徒だと思うが、大変立派な生徒がいる。そのような生徒が、是非地元の岩谷堂高校に入学してくれることを願っている。

学校側： 先日全校集会でステージに登壇し、自分の考えを堂々と発言した生徒がいた。このようなことは初めてで、このような生徒がどんどん出てきて欲しいと考えている。